

今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会

議事次第

平成 18 年 2 月 7 日 (火)
14 : 00 ~ 16 : 00
厚生労働省専用 16 会議室

1. 開 会
2. 議 題
 - 1) 本検討会の検討項目について
 - 2) その他
3. ヒアリング
4. 報 告
5. そ の 他
6. 閉 会

資料一覽

- 資料 1 第 1 回検討会における各委員からの主な発言
- 資料 2 今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会 検討項目(案)
- 資料 3 ワーキング・グループ(案)について

- 参考資料 1 歯列・咬合の状況(平成 11 年歯科疾患実態調査結果)
- 参考資料 2 開口時における顎関節の雑音の自覚割合(保健福祉動向調査結果)
- 参考資料 3 口腔と全身の健康状態に関する文献調査報告書(I)
- 参考資料 4 歯周病と生活習慣病の関係
- 参考資料 5 「8020 運動」実績調査の概要(兵庫県歯科医師会)
- 参考資料 6 歯科医師臨床研修について

第 1 回検討会での各委員からの主な発言

- 口腔外科関連・矯正歯科の疾患等、う蝕・歯周疾患以外の口腔疾患に関する調査資料の検討も必要ではないか。
- 口腔と全身の健康状態との関連を念頭においた検討が必要ではないか。
- 歯科保健の更なる充実によって、医療費の適正化等についても大きな貢献ができるのではないか。
- 口腔疾患と全身疾患（例えば歯周疾患と糖尿病など）との関連についても議論すべきではないか。
- 口腔と健康寿命の関わりなど、新しい今後の歯科保健医療の方向性を、違う視点から展開できるのではないか。
- 患者の視点で、かかりやすさということを考えていくということが非常に大切。また、コミュニケーションやインフォームド・コンセントが極めて重要であり、コミュニケーションの問題も時代に即して考えることが必要ではないか。
- 健康寿命を延ばすためにも、日頃から歯科医院でのチェック等、生活習慣病的なアプローチというものがあれば、それほど治療の必要もなくなるのではないか。
- いわゆる患者啓発のために、地域の歯科医師会がもっと患者啓発の講演会をやっていくようなことも必要ではないか。
- 広く国民全般に対して、歯の健康、口腔保健というものが非常に重要であるということを、情報提供していくことが必要ではないか。
- 歯科医師臨床研修において、魅力ある後期プログラムを、きちんと大学等で用意することが、国民、患者に対し、適切な歯科医療を提供するということにつながっていくのではないか。
- 認定医や専門医に何らかのインセンティブを与えられるような制度があればいいのではないか。
- 専門医、認定医の質の確保、あるいは評価について考えるべきではないか。
- 需給関係についても十分に検討してもらいたい。

今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会

検討項目(案)

I. 総論

今後の歯科保健医療提供の基本的考え方

- ・ 科学的根拠に基づく歯科保健医療の提供(全身との関連等も含む)
- ・ 患者の視点を重視した歯科医療の適切な提供
- ・ 生涯を通じた歯科保健施策の展開
- ・ その他

II. 各論

1) 新たな歯科医療提供体制のあり方

- ・ 欧米諸国における歯科保健医療提供体制の現状
- ・ 今後の歯科医療における需要予測
- ・ 患者の視点を尊重した良質で効率的な歯科医療提供のための体制整備
- ・ その他

2) 歯科医療従事者の更なる資質向上について

- ・ 歯科医師臨床研修と連動した生涯研修のあり方
- ・ 歯科医療における専門医のあり方
- ・ その他

ワーキング・グループについて(案)

1. ワーキング・グループの構成

- ・ 本検討会委員及び専門分野の学識経験者から 10 名程度で構成

2. ワーキング・グループによる検討項目(案)

- ・ 本検討会における検討項目の総論・各論について検討を行う。
- ・ 各論については、
 - 1) 新たな歯科医療提供体制のあり方について
 - 2) 歯科医療従事者の更なる資質向上について
 の2つのサブグループに分け、各サブグループで検討を行う。

3. ワーキング・グループの日程

平成 18 年 2 月	ワーキング・グループの立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・ WG の位置づけ ・ サブグループ分け
平成 18 年 2 月～平成 18 年 5 月	各サブグループで検討し、各項目について取りまとめ

(参考)

第 3 回の検討会については、WG の進捗状況を踏まえ開催。

(内容)

- ・ WG 中間報告
- ・ 最新データ(歯科疾患実態調査等)の整理
- ・ 厚生労働科学研究に研究結果報告
- ・ 歯科医師需給推計について